

理学の本棚

「最新科学が明かす 明和大津波」

東日本大震災から11年が経った。災害の記憶が薄れつつある中、遠い先かもしれない次の巨大地震や津波まで、いかに世代を超えて記憶や記録を伝えていくべきか。難問だが過去に学ぶのも一つの方法である。実は、数百年前の津波災害を今も語り継ぎ、近未来の現実の脅威と認識されている事例が我が国にはある。その代表例が、本書で取り上げる1771年明和大津波である。この津波は、沖縄県の石垣島を中心に30 mもの高さまで遡上し、1万2千人もの人命を奪う巨大災害を引き起こした。明和大津波は、歴史、地質、考古学的記録と高度な数値計算技術を組み合わせて実態が解明されるという、世界的にも最先端の文理融合型研究が行われた事例でもある。それに加えて、250年以上も前に起きた津波災害を地域住民の多くが良く知っており、昭和の時代から始まった慰霊祭は現在でも毎年開催されているなど、災害の伝承という点でも学ぶことが多い。本書は、表紙の津波石と呼ばれる海から打ち上がった巨大なサンゴ

岩塊の研究など、科学者たちがどのように過去の津波の実態に迫っていったのかという研究史から出発し、地質学、歴史・民族学、考古学、海岸工学等の視点で行われた最新の研究成果をまとめたものである。理学や文学には「未知」の津波を「既知」に変える力がある。これによって、初めて防災の出発点に立つことができるようになる。そのことを、本書を通じて実感していただければ幸いである。

関連講義：

地球惑星環境学科 層序地質学、堆積学



後藤和久・島袋綾野 [編]
「最新科学が明かす明和大津波」
南山舎 (2020年)
ISBN 978-4-901427-46

おしらせ |

宮本健郎先生のご逝去を悼む

江尻 晶 (新領域創成科学研究科/物理学専攻兼任 教授)

本 学名誉教授宮本健郎先生が2022年4月4日にご逝去されました。享年90歳でした。3年前に米寿のお祝いをし、元氣な姿を見ていただけに信じられない思いです。宮本先生は、1955年に東京大学理学部物理学科を卒業し、日本光学工業(現ニコン)に入社されました。1959年に米国ロチェスター大学光学研究所(The Institute of Optics, University of Rochester)に留学し、エミール・ウォルフ(E. Wolf)先生の指導の受け、Ph. D.の学位を授与されました。その後、名古屋大学プラズマ研究所助教授、同教授を経て1979年より1992年まで東京大学理学部物理学科教授を務めました。定年後は成蹊大学工学部教授を務めながら、日本原子力研究所(現・量子技術科学研究開発機構)で研究に従事されました。

先生の最初のご業績群は光学におけるものですが、プラズマ研究所においては、JIPP-Iステラレーターの設計建設をし、その後JIPP-IIプロジェクトを率い、日本の核融合研究を盛り立てました。東京大学に移られてからは、工学部原子力学科と共同でREPUTE-1装置を立ち上げ、教育と研究に専念されました。若い世代にとっては、教科書「核融合のためのプラズマ物理(岩波書店, MIT Press, ほか)」の著者として知られ、この分野の教科書としてはもともと網羅的で、今でも時々参照されています。その後、本教科書は最新の成果を取り入れつつ更新を繰り返し、先生のライフワークとなりましたが、今後の更新がないのは残念です。ご冥福をお祈りします。



故・宮本健郎先生

武井 康子 TAKEI, Yasuko

役職 教授
所属 地球惑星科学専攻
着任日 2022年3月16日
前任地 地震研究所
キーワード
固体地球科学, 地球内部物性

Message

地球内部のような高温高压状態での岩石物性を調べることは難しいですが、適切な岩石代用品を用いれば常温常圧で実験できることも多くあります。このような「アナログ実験」を行なっています。よろしくお願いします。



馬場 良子 BABA, Yoshiko

役職 准教授
所属 研究支援総括室
着任日 2022年3月16日
前任地 中央大学
キーワード
産学連携, 社会連携, キャリア

Message

これまで科学コミュニケーターや国立大学・私立大学の URA として研究推進や産学連携に携わってきました。これからは、研究科全体の産学連携を推進し、広く社会とのつながりを強化できるよう尽力いたします。



中村 哲 NAKAMURA, Satoshi N.

役職 教授
所属 物理学専攻
着任日 2022年4月1日
前任地 東北大学
キーワード
原子核物理学, ハイパー原子核

Message

高エネルギー粒子加速器を使って「奇妙な」原子核（ハイパー核）を実験的に研究しています。27年ぶりに戻ってきた本郷キャンパスでの研究・教育生活を新鮮な気持ちで楽しんでいます。よろしくお願いします。



林 悠 Hayashi, Yu

役職 教授
所属 生物科学専攻
着任日 2022年4月1日
前任地 京都大学
キーワード
睡眠, 神経科学

Message

「なぜ動物は眠るのか」という生命科学上の大きな謎の解明に挑んでいます。さまざまな分野の方々との交流や共同研究を楽しみにしております。今後ともよろしくお願いします。



一杉 太郎 Hitosugi, Taro

役職 教授
所属 化学専攻
着任日 2022年4月1日
前任地 東京工業大学
キーワード
固体化学（無機・有機を問いません）

Message

15年ぶりに理学系研究科に戻って参りました。「固体」は面白いです。さまざまな興味深い物性が発現します。機械学習やロボットなども活用して固体化学を深めていきます。



博士学位取得者一覧

(※) は原題が英語 (和訳した題名を掲載)

種別	専攻	取得者名	論文題名
2022 年 3 月 14 日付 (6 名)			
論文		山本 航平	放射光でみる強磁性・反強磁性体薄膜の光誘起磁気ダイナミクス (※)
論文		荒金 匠	熱帯低気圧が気候および環境場に与える影響に関する研究 (※)
論文		高谷 祐平	夏季アジアモンスーンと熱帯低気圧の年々変動機構と予測可能性に関する研究 (※)
論文		宮田 楓	分泌タンパク質及び環境 RNA を対象にしたモニタリング研究 (※)
課程	化学	鈴木 貴裕	イオントラップによる $[\text{Ar-N}_2]^+$ の光誘起電荷移動および CCl_3^+ の電子回析 (※)
課程	生科	森 啓太	確率的生成モデルを用いた動物行動の解析 (※)
2022 年 3 月 24 日付 (112 名)			
課程	物理	劉 英濤	ショウジョウバエ幼虫において頭尾の位相差の調節による運動速度制御を担う神経回路機構の解明 (※)
課程	物理	齋藤 岳志	ミュオン原子 X 線分光と原子核ミュオン捕獲反応の研究 (※)
課程	物理	三ノ宮 典昭	相互作用のある Majorana 鎖における超対称性の自発的破れと南部・Goldstone モード (※)
課程	物理	楡井 真実	熱測定および X 線・中性子散乱による高エントロピー分子液体の研究
課程	物理	樋口 諒	銀河磁場偏向を考慮した最高エネルギー宇宙線起源の探索 (※)
課程	物理	藪 悟郎	多様な物理実験におけるガンマ線計測のための次世代半導体コンプトンカメラの研究
課程	物理	青木 隆明	結合量子振動子系の動力学と熱力学 (※)
課程	物理	飯野 隼平	テンソルネットワーク繰り込み法による表面臨界現象の研究:境界共形場理論の観点から (※)
課程	物理	今木 翔太	カイラルねじれ効果の解析 (※)
課程	物理	宇佐美 潤	ねじれ振り子応答と熱容量の同時測定によるグラファイト上単原子層ヘリウムの新奇量子相の研究 (※)
課程	物理	大岡 紘治	構造ベースの統計力学モデルによるタンパク質のフォールディング機構の予測 (※)
課程	物理	大小田 結貴	最初期形成過程における低質量原始星天体の物理・化学構造 (※)
課程	物理	大西 崇介	一酸化炭素振動回転遷移吸収線による活動銀河核分子トラスの内部構造の研究 (※)
課程	物理	岡本 幸平	スーパーカミオカンデにおける太陽フレア由来のニュートリノ探索 (※)
課程	物理	恩田 理奈	MEG II 実験における最高感度での $\mu^+ \rightarrow e^+ \gamma$ 探索を可能にする背景 γ 線抑制 (※)
課程	物理	春日 知明	超新星残骸の X 線観測による爆発噴出物の研究 (※)
課程	物理	加藤 伸行	XENONnT 暗黒物質探索実験のための新しい液体キセノン純化手法 (※)
課程	物理	川口 海周	高繰り返し 10.7 eV 超短パルスレーザーを用いた時間・スピン・角度分解光電子分光装置の開発とスピン偏極電子状態における超高速光励起ダイナミクスの研究
課程	物理	川崎 拓也	巨視的量子実験のためのミリグラムスケール機械光学系 (※)
課程	物理	川畑 幸平	非平衡開放系の普遍性:非エルミート性・トポロジ・局在 (※)
課程	物理	久保 賢太郎	揺動散逸定理の量子破綻と電子局在に対する非対角電流ゆらぎの頑健性
課程	物理	小岩井 拓真	^{54}Ca を超えた中性子過剰核のインビームガンマ線分光 (※)
課程	物理	小林 伸	複合的非対称暗黒物質の具体的モデルとその現象論 (※)
課程	物理	近藤 寛記	トポロジカルマグノン系における表面状態と輸送現象の理論 (※)
課程	物理	柴田 桂成	チャンネルロドプシン C1C2 におけるレチナル発色団の構造変化とゲーティング機構
課程	物理	柴田 直幸	厳密な量子多体傷跡状態の構成 (※)
課程	物理	嶋屋 拓朗	増殖する細菌集団における空間秩序:初期のバイオフィーム構造から単一細胞形態まで (※)
課程	物理	清水 貴勢	スピン分離した量子ホールエッジ状態における輸送ダイナミクス (※)
課程	物理	爲本 尚樹	生体膜の変形とカップリングした反応拡散系 (※)
課程	物理	鎮西 弘毅	散逸のある量子系における離散時間結晶の理論的研究 (※)
課程	物理	辻 直希	次世代ヒッグスファクトリーにおける精密物理研究のための高精細シンチレータストリップ電磁カロリメータ (※)
課程	物理	津名 大地	誕生直後の恒星質量ブラックホールからの多様な観測的特徴に関する理論的研究 (※)
課程	物理	遠山 晴子	アルカリ (土類) 金属インターカレートによるグラフェンの電子構造の変調と超伝導特性
課程	物理	内藤 智也	原子核密度汎関数理論におけるアイソスピン対称性の破れ (※)
課程	物理	永澤 謙太郎	データ駆動的アプローチと数値計算による複雑流体の再現と計測 (※)
課程	物理	中塚 洋佑	宇宙マイクロ波背景放射で探る宇宙の暗黒成分 (※)
課程	物理	中野 颯	運動論的拘束のある量子多体系における半古典的周期軌道の研究 (※)
課程	物理	野澤 優治	XYZ スピン 1/2 鎖における多数の局所保存量とその流れの研究 (※)
課程	物理	羽柴 聡一郎	膨張時空に於ける量子効果とその宇宙論的帰結 (※)
課程	物理	林 利憲	不可視連星を含む階層的重力三体系:連星ブラックホール探索への応用とその力学的安定性 (※)

博士学位取得者一覧

(※) は原題が英語 (和訳した題名を掲載)

種別	専攻	取得者名	論文題名
課程	物理	藤本 悠輝	高密度物質状態方程式の QCD に基づく構築に向けて (※)
課程	物理	細井 将史	パイロクロア物質におけるスピン軌道もつれ誘起の現象 (※)
課程	物理	万 宇軒	スピン・角度分解光電子分光によるトポロジカル半金属 WTe_2 および EuP_3 の電子状態の研究 (※)
課程	物理	森脇 可奈	宇宙論的シミュレーションと機械学習を用いた宇宙大規模構造の解析 (※)
課程	物理	山本 剛史	超伝導回路における量子輸送と多体効果 (※)
課程	物理	李 泰憲	場の量子論の対称性とアノマリーのボルディズムによる解析 (※)
課程	物理	汪 士杰	アルマ原始惑星系円盤の予言する惑星系: 惑星と円盤共進化、及び多重惑星の長期軌道安定性 (※)
課程	天文	SAEZ ELGUETA Scarlet Margarita	近赤外線高分散分光観測にもとづくセファイド変光星の詳細な化学組成解析 (※)
課程	天文	辰馬 未沙子	惑星形成におけるダスト集合体の物質強度 (※)
課程	天文	菊地原 正太郎	大規模観測データで探る宇宙史を通した低質量銀河の形成 (※)
課程	天文	財前 真理	超新星爆発におけるニュートリノ集団振動のダイナミクスと非対称性 (※)
課程	天文	武井 勇樹	多色光度曲線を用いた相互作用によって光る超新星の親星に関する研究 (※)
課程	天文	山下 祐依	急成長する超巨大ブラックホールを宿す銀河の低温分子ガスと物理的性質 (※)
課程	地惑	田畑 陽久	二価鉄の光酸化: 火星ゲイルクレータ古湖の水文地球化学への示唆 (※)
課程	地惑	南原 優一	PANSY レーダー観測と高解像度大気大循環モデル再現実験に基づく南極大気の階層構造の研究 (※)
課程	地惑	木野 佳音	過去と現在の南極降水同位体比決定過程に関する研究 (※)
課程	地惑	中村 雄飛	赤道 Rossby 波と赤道 Kelvin 波の解析に基づく積雲対流と大気擾乱との結合過程に関する研究 (※)
課程	地惑	山河 和也	火山観測のための極小規模空振アレイの性能評価とその応用 (※)
課程	地惑	依田 優大	Ceres および他の氷天体における低温火山の化学的研究 (※)
課程	地惑	岩切 友希	多年性 ENSO 現象のメカニズム (※)
課程	地惑	上田 拓	統計モデルに基づく地震活動解析と応力変動との関連性 (※)
課程	地惑	小澤 創	非平面断層における地震発生過程の数値的研究 (※)
課程	地惑	上林 海ちる	隕石中難揮発性包有物の蒸発・結晶化実験による初期太陽系円盤圧力の推定 (※)
課程	地惑	川野 由貴	広帯域海底地震学の手法と実践: 西太平洋域アレイ観測への適用 (※)
課程	地惑	佐久間 杏樹	始新世の陸成堆積物に記録された東アジア地域の気候条件: 広域的気候とテクトニクスの関係 (※)
課程	地惑	戸田 賢希	温暖化時における海陸昇温コントラストのメカニズム (※)
課程	地惑	野田 夏実	初期火星における二価鉄サポナイトと硫化水素含有流体との化学反応による水素生成: 惑星気候、環境進化、ハビタビリティへの示唆 (※)
課程	地惑	馬場 慧	日本周辺の沈み込み帯におけるスロー地震の時空間特性の研究 (※)
課程	地惑	林 秀幸	急冷したアングライト隕石の鉱物学的・宇宙化学的研究: 太陽系最初期の火成岩の結晶化過程及び衝撃進化の解明 (※)
課程	地惑	松田 拓朗	南極周極流における渦・平均流相互作用の空間非一様性 (※)
課程	地惑	松本 廣直	白亜紀中期海洋オスミウム同位体記録 (※)
課程	地惑	山谷 里奈	3次元速度構造を用いた稠密な海底地震観測網記録の CMT 解析から推定される茨城沖領域の複雑な応力状態 (※)
課程	地惑	渡辺 泰士	初期地球における大気, 海洋, 生命圏相互作用が駆動する表層環境進化に関する理論的研究 (※)
課程	地惑	洪 竟書	対流許容シミュレーションにおける雲の自己組織化を制御する重要プロセスに関する研究 (※)
課程	化学	刘 文钰	多数のジスルフィド結合を持つペプチド薬剤探索 (※)
課程	化学	亀井 恒	透過電子顕微鏡による三次元物質の絶対配置決定 (※)
課程	化学	菅野 武文	ジスルフィド結合を有する架橋配位子の導入によるシアニド架橋型金属集積体の構造および磁性の制御
課程	化学	賈 方達	マグネシウム置換型ラムダ五酸化三チタンを用いた長期蓄熱セラミックスにおける相転移特性 (※)
課程	化学	武田 拓真	五酸化三チタンにおける β から λ 相への相転移の理論予測 (※)
課程	化学	塚本 聖哉	磁場による 200 GHz 帯吸収体の共鳴周波数の制御
課程	化学	辻 優依	モデルネットワークゲルの変形時における動的及び静的構造解析についての研究 (※)
課程	化学	道場 貴大	鉄触媒 C-H/C-H カップリングによる機能性低分子及び高分子の合成 (※)
課程	化学	長谷川 慎吾	ポリビニルピロリドン保護金クラスターの原子精度合成、構造解析及び触媒作用 (※)
課程	化学	平田 翼	低活性求核種の触媒の活性化を鍵とする炭素-炭素結合形成反応の開発 (※)
課程	化学	美尾 樹	多角形組立戦略による大型湾曲ナノカーボン分子の合成 (※)
課程	化学	毛 司辰	$M_2\text{Mo}_3\text{O}_8$ [$M=\text{Mn}, \text{Fe}$] エピタキシャル薄膜の磁性に関する実験的及び理論的研究 (※)
課程	化学	山下 恵史朗	高圧セル開発とその場中性子回折による純粋および塩を含む氷 VII 相の構造と挙動 (※)
課程	化学	山下 修司	レーザーアブレーション-単一粒子誘導結合プラズマ質量分析法によるナノ粒子・イオンの定量イメージング分析 (※)

博士学位取得者一覧

(※) は原題が英語 (和訳した題名を掲載)

種別	専攻	取得者名	論文題名
課程	化学	山下 優太郎	大環状構造を基盤とする超分子結晶界面における化学変換と構造変換 (※)
課程	化学	若杉 択人	エネルギー変換効率の向上を目指した CaTaO_2N エピタキシャル薄膜の光電気化学特性に関する研究 (※)
課程	生科	池 泰明	線虫 <i>C. elegans</i> のユビキチンリガーゼによる連合学習の制御機構の解析 (※)
課程	生科	池田 貴史	脊索動物の左右非対称性形成過程における細胞外 Nodal シグナル伝達機構 (※)
課程	生科	三上 智之	データ駆動型アプローチに基づく古生物学 (※)
課程	生科	阿部 泰子	時計遺伝子 <i>Bmal1</i> のリズム的な転写制御を介した概日時計振動の安定化機構 (※)
課程	生科	飯野 史織	ミツバチ働きバチの脳におけるエクダイソン受容体の標的遺伝子の同定と解析 (※)
課程	生科	池永 潤平	タカラヒモムシおよびその隠蔽種間の生殖隔離に関する研究 (※)
課程	生科	宇田川 澄生	棘皮動物マナマコにおける五放射相称ボディプランの形成機構に関する発生学的研究 (※)
課程	生科	江端 拓志	生細胞イメージングを用いた細胞死過程におけるテロメラーゼ逆転写酵素 TERT の局在評価 (※)
課程	生科	大矢 恵代	H3K4 メチル化の制御と機能の研究 (※)
課程	生科	島田 寛人	クライオ電子顕微鏡による温度感受性チャネル TRPV3 の構造解析 (※)
課程	生科	鈴木 成実	TP53-FBXO22-TFEB による基底オートファジーを介したホルミシス制御 (※)
課程	生科	寺川 瑛	ショウジョウバエ細胞におけるインスリンシグナル伝達経路による転写および代謝制御のトランスオミクス解析 (※)
課程	生科	析原 行人	シロヒナノチャワンタケ科 (菌界、子囊菌門、ビョウタケ目) の系統分類学的研究 (※)
課程	生科	富田 篤弘	ATP を利用する膜タンパク質による細胞内恒常性維持機構の構造基盤の解明 (※)
課程	生科	富原 壮真	メダカを用いた真骨魚類のメス性行動を賦活する神経回路に関する神経内分泌学的研究 (※)
課程	生科	西村 正宏	パイオニア転写因子 p53 によるヌクレオソーム認識機構の生化学的・構造生物学的解析 (※)
課程	生科	平泉 将浩	リン脂質輸送体 P4-ATPase のクライオ電子顕微鏡を用いた構造解析 (※)
課程	生科	平野 里奈	ヒストンバリエント H2A.B を含むヌクレオソームの構造的性質の解析 (※)
課程	生科	廣木 進吾	線虫 <i>C. elegans</i> のナビゲーション行動における「文脈」の分子によるエンコーディングとシナプスでのデコーディング機構 (※)
課程	生科	藤田 卓	糖摂取による包括的なヒト血中代謝物・ホルモン濃度の仮説駆動・データ駆動解析 (※)
課程	生科	藤本 香菜	胎児に移入する母由来細胞の細胞種の解明 (※)
課程	生科	松村 泰宏	ミツバチ成虫キノコ体におけるエクダイソン関連転写因子 Mblk-1/E93 の新規機能の解析 (※)
2022 年 4 月 18 日付 (5 名)			
論文		川久保 友太	レーザーアブレーション質量分析装置を用いた高時間解像度サンゴ骨格中微量元素分析と北西太平洋亜熱帯長尺温帯サンゴへの応用 (※)
課程	地惑	鄭 昭彤	粒径解像全球エアロゾルモデルによる微物理過程とそのエアロゾル特性への影響に関する研究 (※)
課程	化学	北中 道大	単一サイクルテラヘルツ波によるテラヘルツ波アシステッド電子散乱と電子回折 (※)
課程	生科	竹内 俊祐	マウス嗅覚系における概日リズム制御の細胞・分子基盤の解明 (※)
課程	生科	柳 秀一	出芽酵母 <i>Saccharomyces cerevisiae</i> における DNA ストレスを介した分裂寿命制御機構の解析 (※)
2022 年 4 月 28 日付 (1 名)			
課程	生科	CASTELLAN Flore Sandrine Marie	マウス新生仔における母由来細胞の除去 (※)

人事異動報告 |

異動年月日	所属	職名	氏名	異動事項	備考
2022.3.15	ビッグバン	助教	樫山 和己	退職	東北大学・准教授へ
2022.3.16	地惑	教授	武井 康子	配置換	地震研究所・教授から
2022.3.16	研究支援総括室	准教授	馬場 良子	採用	
2022.3.31	物理	教授	櫻井 博儀	退職	理化学研究所・センター長へ
2022.3.31	地惑	教授	日比谷 紀之	退職	定年
2022.3.31	化学	教授	長谷川 哲也	退職	定年
2022.3.31	原子核	教授	下浦 享	退職	定年
2022.3.31	化学	准教授	廣瀬 靖	退職	
2022.3.31	原子核	特任准教授	清水 則孝	任期満了退職	筑波大学・准教授へ
2022.3.31	生科	助教	井上 雄介	退職	同専攻・特任助教へ
2022.3.31	物理	助教	添田 彬仁	退職	国立情報学研究所・准教授へ
2022.3.31	物理	助教	新倉 潤	退職	理化学研究所・協力研究員へ
2022.3.31	物理	助教	道村 唯太	退職	
2022.3.31	化学	助教	松野 太輔	退職	
2022.3.31	生科	助教	清水 貴美子	退職	医学系研究科・特任研究員へ
2022.3.31	生科	助教	松井 求	退職	新領域創成科学研究科・特任助教へ
2022.3.31	地惑	特任助教	森 樹大	任期満了退職	
2022.3.31	化学	特任助教	寺坂 尚紘	任期満了退職	同専攻・助教へ
2022.3.31	化学	特任助教	中川 幸祐	任期満了退職	低温科学研究センター・技術専門職員へ
2022.3.31	生科	特任助教	鎌谷 高志	任期満了退職	東京医科歯科大学・講師へ
2022.3.31	生科	特任助教	木股 直規	任期満了退職	
2022.3.31	生科	特任助教	COSENTINO SALVATORE	任期満了退職	新領域創成科学研究科・特任助教へ
2022.3.31	生科	特任助教	佐藤 博文	任期満了退職	
2022.3.31	生科	特任助教	鈴木 誉保	任期満了退職	新領域創成科学研究科・特任助教へ
2022.3.31	生科	特任助教	中 伊津美	任期満了退職	同専攻・助教へ
2022.3.31	生科	特任助教	西村 祐貴	任期満了退職	新領域創成科学研究科・助教へ
2022.3.31	生科	特任助教	Nitta Joel Hamilton	任期満了退職	新領域創成科学研究科・特任助教へ
2022.3.31	臨海	特任助教	岡西 政典	任期満了退職	
2022.3.31	学生支援室	特任助教	鈴木 拓朗	任期満了退職	富山大学・講師へ
2022.3.31	学生支援室	特任助教	武村 真理	任期満了退職	
2022.4.1	物理	教授	中村 哲	採用	東北大学・教授から
2022.4.1	化学	教授	一杉 太郎	採用	東京工業大学・教授から
2022.4.1	生科	教授	林 悠	採用	京都大学・教授から
2022.4.1	物理	助教	高三 和晃	採用	
2022.4.1	物理	助教	福田 朝	採用	
2022.4.1	化学	助教	寺坂 尚紘	採用	同専攻・特任助教から
2022.4.1	生科	助教	中 伊津美	採用	同専攻・特任助教から
2022.4.1	ビッグバン	助教	森脇 可奈	採用	
2022.4.1	物理	特任助教	Tsai Hanshen	採用	物性研究所・特任研究員から
2022.4.1	化学	特任助教	福永 隼也	採用	
2022.4.1	生科	特任助教	野崎 修平	採用	
2022.4.1	生科	特任助教	大原 隆之	採用	
2022.4.1	生科	特任助教	永田 隆平	採用	
2022.4.1	生科	特任助教	井上 雄介	採用	同専攻・助教から
2022.4.1	天文研	特任助教	山岸 光義	採用	同施設・特任研究員から
2022.4.1	ビッグバン	特任助教	鈴木 昭宏	採用	国立天文台・特任助教から
2022.4.1	知の物理	特任助教	秋山 進一郎	採用	
2022.4.1	知の物理	特任助教	MENG XIANGMING	採用	同施設・特任研究員から
2022.4.30	生科	特任講師	西田 知訓	辞職	
2022.4.30	物理	助教	明石 遼介	退職	量子科学技術研究開発機構・主任研究員へ

人事異動報告

異動年月日	所属	職名	氏名	異動事項	備考
2022.4.30	生科	特任助教	井川 敬介	任期満了退職	名古屋大学・助教へ
2022.5.1	臨海	特任助教	小口 晃平	採用	
2022.3.31		事務部長	生田目 金雄	退職	定年
2022.3.31	経理	経理課経理チーム (管理業務担当) 一般職員	宗像 光博	退職	再雇用満了
2022.3.31	物理	機器分析・実習系分析測定・ 学生実験部門技術専門職員	八幡 和志	退職	防衛医科大学校・助教へ
2022.3.31	生科	生命科学系系統保存部門技術 専門職員	櫻井 康子	退職	定年
2022.4.1	学務	学務課長	中野 浩子	昇任	本部産学連携法務部部長へ
2022.4.1	経理	経理課経理チーム副課長	正津 玲奈	昇任	本部出資事業支援課課長へ
2022.4.1	経理	経理課研究支援・外部資金チ ーム専門員	近 昭彦	配置換	工学系・情報理工学系等財務課副課長へ
2022.4.1	総務	総務課総務チーム (旅費担当) 上席係長	野場 琢也	配置換	工学系・情報理工学系等総務課旅費チーム上 席係長へ
2022.4.1	学務	学務課学務系専攻チーム (物理) 上席係長	野澤 新吾	出向開始	放送大学学園学務部学生課課長補佐へ
2022.4.1	総務	総務課総務系専攻チーム (地惑) 係長	大杉 俊男	配置換	農学系総務課附属生態調和農学機構事務室係 長へ
2022.4.1	総務	総務課総務チーム (総務担当) 係長	吉村 太志	配置換	農学系総務課附属演習林北海道演習林事務室 係長へ
2022.4.1	総務	総務課総務系専攻チーム (物理) 係長	木暮 志保	配置換	本部国際研究推進課係長へ
2022.4.1	学務	学務課教務チーム (学部担当) 係長	佐伯 勇	配置換	情報学環・学際情報学府学務チーム係長へ
2022.4.1	学務	学務課教務チーム (大学院担当) 係長	辻 ひかる	配置換	本部学務課教務チーム係長へ
2022.4.1		事務部長	渡邊 慎二	昇任	宇宙線研究所事務長から
2022.4.1	学務	学務課長	串部 典子	出向復帰	放送大学学園学務部学生課課長補佐から
2022.4.1	経理	経理課研究支援・外部資金チ ーム副課長	木下 誠一	昇任	地震研究所研究支援チーム上席係長から
2022.4.1	総務	総務課総務チーム (総務担当) 上席係長	奥山 明	昇任	同係長から
2022.4.1	学務	学務課学務系専攻チーム (物理) 上席係長	佐藤 貴一	配置換	工学系・情報理工学系等学務課大学院チーム 上席係長から
2022.4.1	総務	総務課総務系専攻チーム (地惑) 上席係長	大橋 正浩	配置換	農学系総務課附属動物医療センター事務室上 席係長から
2022.4.1	経理	経理課経理チーム上席係長	大川 栄治	配置換	教養学部等経理課用度チーム上席係長から
2022.4.1	総務	総務課総務系専攻チーム (物理) 係長	齊藤 暁子	出向復帰	国立科学博物館経営管理部総務課（法規・労 務担当）係長から
2022.4.1	総務	総務課総務系専攻チーム (生科) 係長	齋藤 香代子	昇任	同主任から
2022.4.1	学務	学務課教務チーム (学部担当) 係長	深谷 仁子	配置換	経済学研究科等教務チーム係長から
2022.4.1	学務	学務課教務チーム (大学院担当) 係長	齋藤 美奈	昇任	同主任から

2022年度
理学系研究科執行体制

研究科長・評議員	星野 真弘（地惑）
副研究科長・評議員	山本 智（物理）
副研究科長	飯野 雄一（生科）
	佃 達哉（化学）
研究科長補佐	川北 篤（生科）
	高橋 嘉夫（地惑）
	河野 孝太郎（天文）
	小澤 岳晶（化学）
事務部長	渡邊 慎二

東大理学部基金



限界を突破し、科学を進め、社会に貢献する。
理学部の若手人材の育成にご支援ください。

ご支援への感謝としての特典

(1月から12月までの、1年間のご寄付の合計金額)

3,000円以上：理学部カレンダー(非売品)・クリアファイルのご送付



東京大学大学院理学系研究科長・理学部長

星野 真弘

理学系研究科・理学部の歴史は、東京大学創設の1877年(明治10年)までさかのぼり、昔も今も、自然の摂理を純粹に追及するプロフェッショナル集団として、日本のみならず、世界の理学研究・教育の中心として、多くの成果と人材を輩出しております。

理学の研究によって、われわれは自然の摂理をより深く理解し、またそこから科学技術へ応用できるシーズを得て人類社会を発展させてきました。近年、ノーベル賞を受賞した梶田隆章先生(2015年)、大隅良典先生(2016年)、真鍋淑郎博士(2021年受賞決定)の研究はいずれも人類の「知」の地平を拡大する画期的な成果となり、まさに理学の神髄というべきものでした。

一方、「自然」はもっと深淵で、手ごわく、時としてわれわれの慢心や驕りに強い警鐘を鳴らします。現在、人類社会は多くの地球規模の難問、たとえば資源の枯渇、自然災害、環境破壊、気候変動などに直面しています。これらの問題の解決策についても、多様な切り口を持ち、事象を深く理解する理学への期待がさらに高まっています。理学系研究科・理学部は、これからも最先端の「知」を創造し、その期待に応えていきます。

そのためには皆様の力が必要です。理学系研究科・理学部は人類社会の持続的・平和的發展に向けて、皆様と一緒に、大いに貢献していきたいと切に願っております。皆様の力強いご支援を賜りたくお願い申し上げます。



理学系研究科・理学部関連基金のご紹介



Life in Green Project

「小石川植物園」と「日光植物園」を世界に誇る植物多様性の研究施設として整備し、社会に開かれた植物園へと発展させるプロジェクトです。



マリン・フロンティア・サイエンス・プロジェクト

幅広い分野で活躍する研究者と、ビジネス・産業の専門家を三崎に結集させ、三崎の海にすむ生き物を用いた基礎研究の成果を宝石の原石として、そこから三崎ならではの革新的なビジネスと産業を創出し、「イノベーションを産む奇跡の海、世界のMISAKI」として、東大三崎臨海実験所から世界に情報発信することを目的としたプロジェクトです。



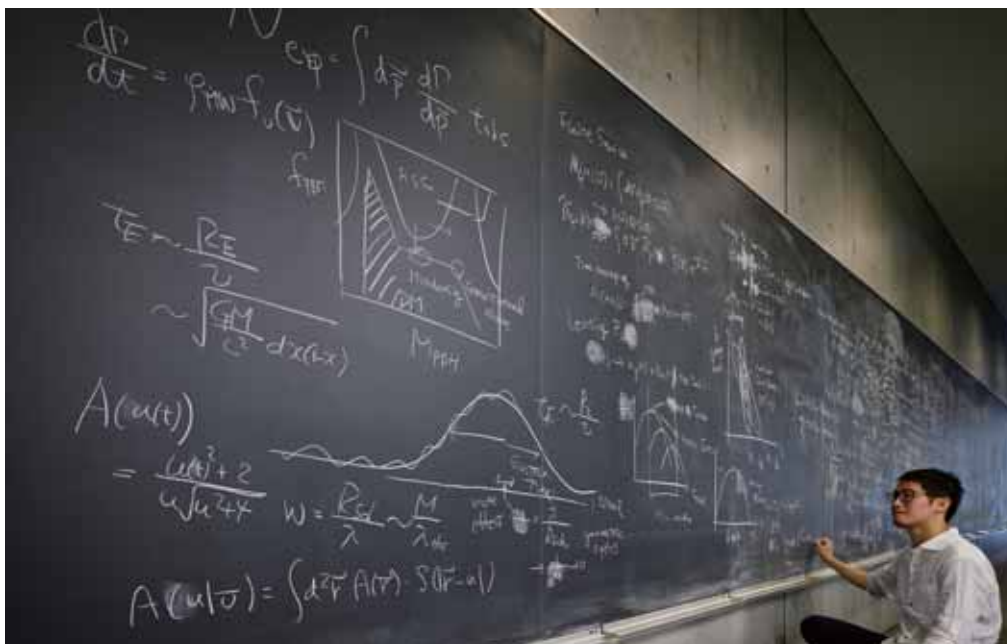
知の物理学研究センター支援基金

これまでの既存の物理学研究の枠を超えた新たな挑戦として、現在世界的に関心を集めている「説明可能なAI(Explainable AI = XAI)」を物理学の基礎原理に基づいて構築し、原因から結果に至る因果関係を演繹的にモデル化するなど、物理学とAIが融合する新しい学問領域の創出を目指します。



地球惑星の研究教育支援基金

地球・惑星・環境などを理学的に展開する基礎科学でありながら、太陽系や、生命の誕生と進化などの「夢」を追求し、環境・災害・資源などの「社会や人間の役に立つこと(貢献)」への研究をします。



カブリ数物連携宇宙研究機構 (Kavli IPMU) 棟の外観(下)と1階廊下にある約16メートルの大黒板(上)。大黒板は研究者の日頃の議論に活用されている。